

都市計画道路宮前三橋線（三橋工区）事業認可に伴う説明会 議事要旨

1. 開催日時 令和 6 年 3 月 26 日（火） 18 時 00 分～19 時 15 分
2. 開催場所 三橋 5 丁目自治会館
3. 配布資料 説明会資料
4. 次第
 - ① 開会
 - ② あいさつ
 - ③ 職員紹介
 - ④ 事業認可説明
 - （1）事業概要について
 - （2）事業認可について
 - （3）用地補償について
 - ⑤ 質疑応答
 - ⑥ 閉会

【参考】：説明会時にお答えできなかった内容について補足したものです。

【事業計画について】

Q 都市計画道路の線形について、平成5年の都市計画決定時から変わっていないようですが、現在の目で見ても、コストパフォーマンスの視点などを踏まえて線形の見直しをシミュレーションしていないのか。

A 【参考】都市計画課に確認したところ、道路網計画の改定にあたっては市全体の整備効果や将来の自動車交通の流れの検証は行っておりますが、個別路線の具体的な検討（線形に関する検討）は実施していないとの回答でした。

なお、平成5年当時の線形決定の考え方につきましては、当時の旧大宮市において、当該路線の設計条件である道路種別（4種2級）や設計速度（50km/h）から、三橋交番交差点と青葉通り交差点への取り付き状況や、現道の線形を踏まえ、関係機関（交通管理者や埼玉県）と協議した上で、線形を決定していると聞いております。

Q さいたま春日部線や青葉通りとの交差点部分について、さいたま春日部線も青葉通りも都市計画道路となっておりますが、今回の買収範囲はどのような計画となっているのでしょうか。

A 交差点部分の用地買収範囲については、今回事業化しました宮前三橋線を、現況の交差点に接続するために必要な範囲での買収を予定しております。従いまして、今後、さいたま春日部線や青葉通りが事業化されることになると、その際に改めて各路線の拡幅に必要な買収範囲が決まり、そちらの事業として用地買収を実施させていただくことになります。

【用地補償について】

Q 事業用地にまたがって建築されている建物があった場合、どのような補償になるのか。

A 物件調査の中で、建物の状態（築年数や構造など）を確認した上で、建て替えが必要な場合や、一部切り取りで対応可能な場合など、個別の判断となります。調査した結果を基に個別に説明させていただくことになります。

Q 事業用地にまたがっている建物で、一部撤去しなくてはいけない部分が、風呂場やトイレなど生活に必要な設備の場合はどうなるのか。

A 建物として重要な部分でそれだけをなくすことができない場合につきましては、その機能を回復するために必要な補償や、建物全体を見て再築する補償などが考えられます。

Q 建物の移転補償の説明の中で、建物は建築年数に応じて現在価値に置き換えるといった説明がありましたが、自治会館は非常に古い建物であることから現在価値は相当低いのではと考えています。そのような場合、機能を回復させると言う視点でどこまで補償がでるのでしょうか。

A 物件調査の中では、建築年数だけではなく、日頃の維持管理をどこまでされているかといった使用状況なども考慮して補償金額を算定いたします。

Q 自治会館で使用している土地は借地であるが、移転先の土地は市から提供されるのか。

A 代替地を提供することはできません。

【その他】

Q 現在の道路の境界は、道路側溝の両端という認識であっていますか。先日境界立会を実施したところ、現在の道路の範囲が道路側溝の端ではないといった説明がありましたが、どういうことなのでしょう。

A 現在、道路の境界に関する調査・確認を進めておりますので、調査結果ができましたら個別にご説明させていただきます。

Q 三橋交番も移転の対象になると伺っておりますが、小学校の通学路の安全性や、地域の治安維持といったことを考えると残していただきたいと思っております。今後、交番の取扱いはどのような予定なのでしょう。

A 現時点では、埼玉県警から移転先に関する情報はいただけていない状況です。なにか情報が分かりましたら、お知らせさせていただきたいと考えております。また、頂いたご意見につきましては、埼玉県警にお伝えさせていただきます。

以上